

# 2021 年度 会務報告

## 社会言語科学会 2021 年度第 1 回（通算第 108 回）理事会議事録

日時： 2021 年 5 月 9 日（日）13:00～17:40

開催方法： Zoom

出席者：

理事 片桐恭弘，小西いずみ，朝日祥之，井出里咲子，岩田一成，植野貴志子，  
宇佐美まゆみ，片岡邦好，金 庚芬，高梨克也，中井陽子，秦かおり，  
サウクエン・ファン，三宅和子，柳田直美

監事 多々良直弘

事務局委員： 中西太郎，長谷川明香

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

1. 第 45 回研究大会時の徳川宗賢賞選考委員会について
  - 1) 第 45 回研究大会時には委員会を開催せず，メールで徳川宗賢賞基金に関する申し送り事項を送付し，2021 年度以降の検討事項としたことが報告された。
2. 2021 年度の予定について
  - 1) 委員会開催予定および活動計画が報告された。

#### ○事務局委員会

1. 会勢報告について
  - 1) 2021 年 4 月 23 日（金）現在の会勢が報告された。  
会員数：1,289 名。内訳は次の通り。

一般会員：1,139 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：89 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：58 団体	名誉会員：1 名
2. 会費納入状況について
  - 1) 2021 年 4 月 23 日（金）現在の会費未納件数（2018～2020 年度分）が報告された。

一般会員：114 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：1 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：7 団体	

- 2) 2021年4月23日(金)現在の会費納入率が、2018年度分は98.1%、2019年度分は96.2%、2020年度分は95.9%であることが報告された。
3. 会費納入依頼および未納会員への対応について
  - 1) 会費納入依頼に関するスケジュールが示された。
  - 2) 2018年度第1回(通算95回)理事会で決定された通り、退会の申請は当該年度の5月末までになっていることが確認された。
  - 3) 参考情報として、激甚災害や新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による被災者の年会費免除について以下の通り報告があった。
    - ・ 令和2年7月豪雨 2020年度分  
申請無し
    - ・ 新型コロナウイルス感染症の影響(学生会員) 2020年度分  
計9件(メール審議にてすべて理事会承認済)
    - ・ 令和3年2月福島・宮城地震 2020年度分・2021年度分  
申請無し(2021年4月30日(金)現在)
4. 日本学術振興会賞の推薦について
  - 1) 推薦の条件に照らし、今回は該当者がいなかったことが報告された。
5. 2021年度の学会の体制について
  - 1) 2021年度の理事・監事、および、各委員会の委員・幹事体制について、資料に基づいて報告がなされた。
6. メーリングリスト一覧について
  - 1) 現在稼働している学会業務用メーリングリストの一覧が提示され、変更点の確認を行なった。
  - 2) 各委員会に対して、一覧内のメーリングリストの要不要を検討すること、また、新たなメーリングリストが必要か検討することの依頼があった。
7. 委員会謝金単価について
  - 1) 学会業務にかかわる謝金単価について資料に基づいて報告がなされた。
8. 事務・データ管理に関する担当者の連絡先について
  - 1) 事務・データ管理の担当者について、連絡先が確認された。
9. 事業計画および委員会開催予定について
  - 1) 事業計画として、通常業務と委員会開催予定に加え、取り組むべき課題が報告された。

## ○研究大会委員会

1. 第45回研究大会について
  - 1) 第45回研究大会(2021年3月13日(土)～15日(月)、於:桜美林大学 OBIRIN 講堂(オンライン開催))の総参加者数が335名(講師・スタッフ含む)であったことが、これまでの研究大会の参加者数とあわせて報告された。
  - 2) 懇親会(Zoom利用により参加費無料)について、実際の総参加者数が66名であったことが報告された。
  - 3) 研究大会発表賞受賞式および懇親会における手話通訳費用を本学会で負担したことが報告された。

- 4) オンライン開催のため託児室利用はないが、託児補助金申請も0件であったことが報告された。
- 5) 第45回研究大会全体での収支がまだ確定していないため、次回理事会にて報告予定であることが確認された。
2. 第46回研究大会以降の開催について
  - 1) 第46回研究大会について以下の通り計画していることが報告された。

日時：2022年3月3日（木）～5日（土）

会場：関西学院大学（西宮上ヶ原キャンパス）

実行委員長：森本郁代氏
  - 2) 第47回研究大会については未定であることが報告された。
3. 事業計画および委員会開催予定について
  - 1) 通常業務、委員会開催予定のほか、2021-2022年度に委員会として取り組むべき課題が報告された。

## ○学会誌編集委員会

1. 事業計画について
  - 1) 通常業務の詳細が報告された。
  - 2) 委員会内の各担当者が示された。
  - 3) 2021-2022年度に委員会で取り組むべき課題が示された。
2. 委員会開催について
  - 1) 委員会を2021年4月10日（土）15:00-18:30、Zoomにて開催したことが報告された。そこでは、編集事務局から査読システムの説明がなされたほか、書評執筆者選定、特集号のテーマおよびエディターの選定が議論された。
  - 2) 今後の委員会開催予定が報告された。
3. 学会誌第23巻第2号（2021年3月末刊行）について
  - 1) 巻頭言、研究論文4編、資料2編、書評4編を掲載したことが報告された。
4. 学会誌第24巻第1号（2021年9月末刊行）について
  - 1) 特集「共生を問い直す社会言語科学」（エディター：鄭恵先（北海道大学）、筒井佐代（大阪大学）、平田未季（北海道大学）、義永美央子（大阪大学）の各氏）の2021年5月1日（土）時点での編纂状況が報告された。
  - 2) そのほかの一般論文の2021年5月1日（土）時点での編纂状況が報告された。
5. 学会誌第25巻第1号（2022年9月末刊行）について
  - 1) 特集「コロナ禍と社会言語科学」（エディター：岡田祥平（新潟大学）、生越直樹（東京大学）、高木智世（筑波大学）、関崎博紀（筑波大学）の各氏）の2021年5月1日（土）時点での編纂状況が報告された。
6. 投稿・査読状況について
  - 1) 2021年5月1日（土）現在の一般論文の査読状況が報告された。
  - 2) 2021年3月1日（月）～2021年4月30日（金）の投稿件数が報告された。
7. 学会誌第26巻第1号の特集について

- 1) 今後のスケジュールと広報計画が示された。
  - 2) テーマとして、「言語とパワー」を軸に検討中であることが報告された。
  - 3) エディター候補の名前が挙げられた。
8. 査読マニュアル類の修正について
- 1) 投稿者の原稿修正期間を明示し、一般投稿と特集号投稿の修正期間を統一することとしたこと、その新しい修正期間を 2022 年 9 月刊行の第 25 巻第 1 号より適用することが報告された。
  - 2) 担当編集委員と査読者の兼任不可を明記することにしたことが報告された。
  - 3) 査読期間を明記することが報告された。
9. 査読・掲載対象となる論文の投稿者について
- 1) 投稿規定に記載されている「投稿者」である期間は、論文投稿時から論文掲載時までにはわたるべきで、その途中で退会した場合は「投稿者」の資格失効になるという点が学会誌編集委員会で確認されたことが報告された。そのうえで、投稿規定の文言にそれを明記する案が検討されていることとの報告があった。

## ○企画委員会

1. 第 3 回社会言語科学会シンポジウム、および同日午前開催の学生・ワークショップについて
  - 1) 以下の通り予定されていることが確認された。

日時：2021 年 9 月 11 日（土）

プログラム：

10:00-12:00	学生・ワークショップ
12:00-13:00	昼休み
13:00-13:30	会員総会
13:30-17:45	シンポジウム

企画責任者：高梨克也氏（滋賀県立大学）

テーマ：「リフレクティブな共在の仕方」
  - 2) 学生・ワークショップについて、2020 年度は開催を見送ったが 2021 年度は実施することとし、募集要項および応募用紙を作成したこと、2021 年 3 月末に学会ウェブサイト、学会公式 SNS、会員メーリングリストを通じて告知したことが報告された。
  - 3) 今後のスケジュールが示された。
  - 4) 今後の検討事項が報告された。

## ○事業委員会

1. 2020 年度オンライン講習会について
  - 1) オンライン講習会「社会言語科学の研究の始め方」が以下の通り実施されたことが報告された。

日程：2021 年 3 月 18 日（木）～20 日（土）

場所：OBIRIN 講堂（オンライン開催）（懇親会には別システム Remo を使用）

講師：

全体講義担当： 伝康晴氏（千葉大学）、坂井田瑠衣氏（日本学術振興会）、  
長岡千賀氏（追手門学院大学）、高梨克也氏（滋賀県立大学）

コース別講義・実習担当：

ビデオデータを見る： 坂井田瑠衣氏（日本学術振興会）、  
堀内ふみ野氏（大東文化大学）、  
居關友里子氏（国立国語研究所）

質問紙を作る： 長岡千賀氏（追手門学院大学）、  
新井保裕氏（文京学院大学）、  
吉田尚子氏（追手門学院大学）

フィールドで問いを 高梨克也氏（滋賀県立大学）、  
見つける： 伝康晴氏（千葉大学）、  
阿部廣二氏（早稲田大学）

参加費：会員：（一般）10,000 円，（学生）5,000 円

非会員：（一般）15,000 円，（学生）10,000 円

※オンライン開催のため、平年よりも大幅に値引いた

参加者：37 名（うち、連絡なしの欠席 2 名。参加費の返金はなし）

ビデオ 会員：（一般）6 名，（学生）4 名，非会員：（一般）2 名，（学生）3 名

質問紙：会員：（一般）2 名，（学生）0 名，非会員：（一般）4 名，（学生）2 名

フィールド：会員：（一般）3 名，（学生）3 名，非会員：（一般）7 名，（学生）1 名

2) アンケートを実施し 33 名から回答を得たこと、おおむね好評であったことが、アンケートの具体的な回答とともに報告された。

2. 事業計画および委員会開催予定について

1) 講習会について今後の計画が示された。

2) 講習会のテーマとして、2019 年度第 2 回講習会として予定していた「研究成果を国際的に発信するための Tips：文法研究・敬語研究・会話分析」が考えられること（同テーマの講習会は新型コロナウイルスの影響で中止となった）、委員会内でこれも含めて検討することが報告された。

3) 業務分掌に関する課題が報告された。

4) 委員会開催予定が報告された。

## ○広報委員会

1. 学会公式 SNS について

1) 前回報告以降の実施状況が報告された。

2. 委員会開催について

1) 委員会を 2021 年 3 月 15 日（月）、2021 年 5 月 1 日（土）の 2 回、いずれも Zoom にて開催し、事業計画の意見交換ならびに懸念事項の確認をしたことが報告された。

2) 今後の委員会開催予定が報告された。

### 3. 事業計画について

- 1) 通常業務および今後の課題が示された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

### 1. 事業計画について

- 1) 通常業務と委員会開催予定に加え、2021-2022 年度に委員会で取り組むべき課題が挙げられた。

### 2. 第 45 回研究大会での発表を選考対象とする第 21 回研究大会発表賞について

- 1) 以下の 3 名を受賞者とすることを決定したことが報告された（五十音順）。

尾賀円香氏（立命館大学）〔共同発表者：赤井里奈氏，岡本雅史氏〕

「「食べる」と「飲む」を伴う会話場面の身振り分析—会話と飲食を調節する〈アイドリング〉動作に着目して—」

尾崎萌子氏（慶應義塾大学）

「絵本の読み聞かせにおける日米比較 —「意見」に関する発話の統計的分析—」

立見洸貴氏（名古屋大学）

「相談場面における「独話的発話」の類型 —発話連鎖と「文型」の関係をめぐって—」

## 【議案】

### 1. 新型コロナウイルス感染症の影響による学生会員の会費免除措置の継続について

- 1) 事態終息の目途がたたない状況に鑑み、2020 年度に続き、2021 年度も学生会員に対して会費免除の措置を行ないたいとの提案がなされ、承認された。
- 2) 2020 年度募集時の免除の対象条件、告知する文面について、事務局委員長が原案を作成してメールにて理事会で諮ることとなった。

### 2. 第 46 回研究大会の招待講演・特別講演候補者について

- 1) 串田秀也氏（大阪教育大学）、田中ゆかり氏（日本大学）に依頼する案が提示され承認された。会員による講演は特別講演という名称になる。

### 3. 第 46 回研究大会開催形態について

- 1) 他学会の研究大会や集会の開催方法の一覧、および第 46 回研究大会開催までの大まかなスケジュールが示され、第 46 回研究大会の開催方法を 8 月初頭までに決定したいことが連絡された。
- 2) 次回理事会までに、対面開催とオンライン開催それぞれの場合の予算案、および、オンライ

ン開催になった場合の開催校（関西学院大学）からの補助についての情報を収集し、それにもとづいて理事会で審議・決定することが提案され、承認された。

#### 4. 大会発表論文集ダウンロードページの簡素化について

- 1) 大会発表論文集製作にかかる費用が報告された。
- 2) 今後、経費削減のためにダウンロードページの簡素化を検討する案が提示され、承認された。

#### 5. 第3回社会言語科学会シンポジウムおよび同日午前開催の学生・ワークショップの開催方法について

- 1) 第3回社会言語科学会シンポジウムおよび学生・ワークショップについて、現在の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に鑑み、オンライン開催とする案が提示され、承認された。
- 2) 開催校は桜美林大学（OBIRIN 講堂）となることが報告された。

#### 6. 社会言語科学会シンポジウムおよび同日午前開催の学生・ワークショップの手話通訳について

- 1) 午前の学生・ワークショップについては、並列開催のため、学会で一括手配せずに申込者に対して以下の通り手話通訳補助を実施する案が提示され、承認された。  
補助金：1件20,000円を限度として補助。ただし全体の上限を60,000円とし3人を超える申し込みがあった場合には60,000円を人数分で割って補助する。
- 2) 会員総会およびシンポジウムでは、重複して通訳者を依頼することを防ぐため、1人でも申し込みがあれば学会で一括して手話通訳を依頼する案が提示され、承認された。

#### 7. 社会言語科学会シンポジウムおよび同日午前開催の学生・ワークショップの託児補助について

- 1) 第45回研究大会と同様に、1日あたり5,000円（子1人につき）託児補助する案が提示され、承認された。

#### 8. オンライン開催の学会イベントにおける広報用資料の取得・公開について

- 1) スクリーンショットや録画の可否、事前の周知方法、承諾方法について、意見交換がなされた。

# 社会言語科学会 2021 年度第 2 回（通算第 109 回）理事会議事録

日時：2021 年 7 月 11 日（日）13:30～18:15

開催方法：Zoom

出席者：

理事 片桐恭弘，小西いずみ，井出里咲子，岩田一成，植野貴志子，  
宇佐美まゆみ，片岡邦好，金 庚芬，高梨克也，中井陽子，秦かおり，  
サウクエン・ファン，三宅和子，柳田直美

監事 多々良直弘

委任状提出者：朝日祥之

事務局委員：中西太郎，長谷川明香

## 【報告】

各委員会からの報告

### ○事務局委員会

#### 1. 会勢報告について

1) 2021 年 6 月 28 日（月）現在の会勢が報告された。

一般会員：1,129 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：111 名	学生 ODA 会員：1 名
団体会員：58 団体	名誉会員：0 名

#### 2. 会費納入状況について

1) 2021 年 6 月 28 日（月）現在の会費未納件数（2018～2021 年度分）が報告された。

一般会員：448 名	一般 ODA 会員：0 名
学生会員：31 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：16 団体	

2) 2021 年 6 月 28 日（月）現在の会費納入率が，2018 年度分は 98.5%，2019 年度分は 96.6%，  
2020 年度分は 97.1%，2021 年度分は 69.6%であることが報告された。

#### 3. COVID-19 の影響による学生会費免除について

1) 2 件の申請がありどちらも承認したことが報告された。

#### 4. 日本学術振興会育志賞の推薦について

1) 該当者なしであることが報告された。

### ○研究大会委員会

#### 1. 第 45 回研究大会の収支について

- 1) 収支状況（収入額 1,327,000 円；支出額 990,216 円）が報告された。
2. 第 46 回研究大会以降の準備状況について
  - 1) 研究大会用のウェブシステムのテストから研究大会までの準備日程が報告された。
  - 2) 招待／特別講演者 2 名，招待発表者 3 名が報告された。
    - ・ 特別講演：3 月 3 日（木）午後  
    串田秀也氏（大阪教育大学）  
    田中ゆかり氏（日本大学）
    - ・ 招待発表：  
    小川俊輔氏（県立広島大学）  
    甲田直美氏（東北大学）  
    中俣尚己氏（京都教育大学）

## ○学会誌編集委員会

1. 2021 年 7 月 3 日（土）現在の学会誌編集状況について
  - 1) 第 24 巻第 1 号（2021 年 9 月末刊行）の編纂状況が報告された。
  - 2) 第 24 巻第 2 号の編集状況が報告された。
  - 3) 第 25 巻第 1 号の編集状況が報告された。
2. 投稿件数について
  - 1) 2021 年 5 月 1 日（土）～7 月 3 日（土）までの投稿件数が報告された
3. 学会誌第 26 巻特集号について
  - 1) 特集号の特集内容，エディターの検討状況が報告された。
4. 次回の学会誌編集委員会について
  - 1) 委員会の次回開催予定が報告された。

## ○企画委員会

1. 第 3 回社会言語科学会シンポジウム（2021 年度）について
  - 1) シンポジウムの広報状況が報告された。
  - 2) 参加費は無料とすることが確認された。
2. スチューデント・ワークショップ（2021 年度）について
  - 1) 応募状況（2 件採択）が報告された。
3. 第 4 回社会言語科学会シンポジウム（2022 年度）について
  - 1) 企画内容についての検討状況が報告された。
4. 今後の予定について
  - 1) 今後，第 3 回社会言語科学会シンポジウムの手話通訳・託児保育補助の実施，スチューデント・ワークショップ活性化，第 5 回社会言語科学会シンポジウムの会場校について，検討や調整を進めることが報告された。

## ○事業委員会

1. 今後の事業計画の見直しについて
  - 1) 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、企画の再検討を行なっていることが報告された。
2. 今年度の事業計画について
  - 1) テーマと日程の検討状況が報告された。

## ○広報委員会

1. 学会公式 SNS の実施状況について
  - 1) 活用状況が報告された。
2. 秋発行の学会誌広告の募集について
  - 1) 学会誌広告の応募を開始したことが報告された。
3. 言語系学会連合ホームページ更新について
  - 1) 言語系学会連合ウェブサイトに更新があったことが報告され、その内容が紹介された。
4. 今後の委員会開催について
  - 1) 委員会の次回開催予定が報告された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

1. 研究大会発表賞審査基準について
  - 1) 今後の審査基準検討スケジュールが報告された。

## 【議案】

### 1. 2020 年度決算報告について

- 1) 資料の通り、2020 年度決算報告がなされ、了承された。

### 2. 2021 年度予算案について

- 1) 資料の通り、研究大会（オンライン開催・現地開催）の 2 種の予算案が示され、研究大会委員会議案（議案 7）の検討結果を踏まえ、オンライン開催の案にもとづく説明がなされた。
- 2) 細かな確認・修正を行ない、最終案をメール審議することが確認された。

### 3. 銀行口座の名義変更と整理について

1) 学会が管理する郵便振替・銀行口座の一部の解約と名義変更について決定した。

### 4. 学術誌サブスクリプションサービスへの『社会言語科学』の収録について

1) 学術誌サブスクリプションサービスとの契約について提案がなされたが、J-Stage の意義を尊重するという考え方から契約を見送ることとした。

### 5. 人文社会系学協会連合連絡会への参加について

1) 人文社会系学協会連合連絡会への参加の提案がなされ、承認された。

### 6. 会則のうち「委員会に関する細則」の5番の改正と関連事項について

1) 会務報告に関する細則改正と掲載先に関する提案がなされ、承認された。

〈細則改正前〉

5. 事務局委員会は、対外折衝、会員管理(名簿の作成を含む)、会費の徴収、学会誌等の会員以外への販売、理事会・総会の運営補佐、監事の職務の補佐、理事および監事候補者推薦管理委員会の運営補佐、会計、財産管理、学会誌掲載の会務報告の原稿執筆、そのほか、他の委員会の管掌する業務以外のすべての日常事務を分担する。事務局運営にかかわる諸規定は、事務局長の提案にもとづき、理事会で定める。

〈細則改正案〉上の下線部を「会務報告」とする

〈会務報告掲載先の案〉学会ウェブサイト 学会概要>資料室

### 7. 第46回研究大会の開催形態について

1) 第46回研究大会の開催形態（オンライン開催／対面開催）について、開催にかかる費用や他学会の開催状況の情報をふまえて審議した。理事の多数の意見をふまえ、オンラインを基軸にして準備を進め、8月末の段階で最終決定とすることになった。

2) オンライン開催の場合、研究大会委員会でオンラインプラットフォームの設定を行い、zoomのURL等を記したPDFを作成し、参加申し込み者に送付する方法をとることとした。

### 8. 第46回研究大会のJASSカフェ及び理事会・委員会スケジュールについて

1) JASSカフェの開催日時について、第45回研究大会のスケジュールをもとに検討・調整して

いくことを確認した。

## 9. 学会ウェブサイト掲載「担当編集委員役割」の改訂案について

- 1) 学会ウェブサイト掲載「担当編集委員役割」の改訂案が示され、承認された。
  - ・一般投稿と特集号投稿の修正期間を統一し、投稿規定を修正し、2022年9月発行の特集号より適用する。
  - ・第三査読者の判定の流れについて、査読フローチャートに注による説明を加筆する。

## 10. 招待講演者への寄稿依頼の手順について

- 1) 研究大会委員会との寄稿依頼の役割分担状況についての確認がなされ、今後の円滑な依頼の仕方について、再度検討することになった。

## 11. 研究倫理ワーキンググループ結成について

- 1) 学会誌編集委員会内に研究倫理に関するワーキンググループを設置し投稿規定類の改訂などを検討する予定であること、今後は他委員会・理事会と協力して進めていくことが報告・提案され、承認された。

## 12. 社会言語科学会シンポジウムにおける出版社の出店について

- 1) 9月シンポジウムにかかる出版社の出店打診について、オンライン開催という状況を踏まえ、現状と問題点が報告され、出店を認めるかについての審議がなされた。
- 2) 会場を提供する多々良監事より OBIRIN 講堂で対応可能との回答があり、出店を認めることとした。ただし、公平性を担保するために、他出版社にも呼びかけることとした。

## 13. その他

- 1) 名誉会員の長尾真氏ご逝去に伴い、追悼記事を学会誌に掲載することについて提案がなされた。

## 社会言語科学会 2021 年度第 3 回（通算第 110 回）理事会議事録

日時：2021 年 9 月 9 日（木）13:30～16:30

開催方法：Zoom

出席者：

理事 片桐恭弘，小西いずみ，朝日祥之，井出里咲子，岩田一成，植野貴志子，  
宇佐美まゆみ，片岡邦好，金 庚芬，高梨克也，中井陽子，秦かおり，  
サウクエン・ファン，三宅和子，柳田直美

監事 熊谷智子，多々良直弘

事務局委員：長谷川明香

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

1. 第 21 回（2021 年度）徳川宗賢賞受賞論文の選考について
  - 1) 選考対象の論文の編数が報告された。
2. 今後の委員会開催予定について
  - 1) 第 51～53 回委員会の予定が報告された。

#### ○事務局委員会

1. 会勢報告について
  - 1) 2021 年 8 月 26 日（木）現在での会勢が報告された。

一般会員：1,134 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：115 名	学生 ODA 会員：1 名
団体会員：59 団体	名誉会員：0 名
2. 会費納入状況について
  - 1) 2021 年 8 月 26 日（木）現在の会費未納件数（2018～2021 年度分）が報告された。

一般会員：345 名	一般 ODA 会員：0 名
学生会員：21 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：11 団体	
  - 2) 2021 年 8 月 26 日（木）現在の会費納入率が，2018 年度分は 98.6%，2019 年度分は 96.7%，2020 年度分は 97.3%，2021 年度分は 78.5%であることが報告された。
3. 予算案の修正について
  - 1) 一般会計予算案の修正案について，メールを通じて理事会で審議され承認されたことが報

告された。

#### 4. 会則細則の改正について

- 1) 「会議に関する細則」を、メール審議を経て2021年8月29日付で改正施行したことが報告された。改正した項目は以下の通りである。

##### 会議に関する細則

- 2 改正前 理事会の議事概要は、学会誌を通じて会員に報告する。  
改正後 理事会の議事概要は、会務報告を通じて会員に報告する。
- 3 改正前 臨時総会を含む総会の議事概要は、学会誌を通じて会員に報告する。  
改正後 臨時総会を含む総会の議事概要は、会務報告を通じて会員に報告する。
- 5 改正前 推薦状況の概要は、学会誌を通じて会員に報告する。  
改正後 推薦状況の概要は、会務報告を通じて会員に報告する。

#### 5. 口座の解約・名義変更について

- 1) 学会の銀行口座・郵便振替口座の解約・名義変更が報告された。

### ○研究大会委員会

#### 1. 第46回研究大会について

- 1) 理事会でのメール審議の結果、オンライン開催に決定したことが報告された。
- 2) 理事会でのメール審議の結果、学生参加費減額が決定したと報告された。
- 3) 第46回研究大会までの今後の重要日程が確認された。
- 4) オンライン開催の方法（ZoomやSlackの利用など）が報告された。
- 5) 実行委員会の体制が以下の通り報告された。

森本郁代氏（実行委員長）

山本真理氏（副実行委員長）

尹盛熙氏

難波彩子氏（いずれも関西学院大学）

- 6) 後援の関西学院大学からの支援金の規模が報告された。

#### 2. 今後の開催予定について

- 1) 第47回研究大会の開催校候補について報告があった。

### ○学会誌編集委員会

#### 1. 学会誌編集状況について

- 1) 第24巻第1号（2021年9月末刊行）の編纂状況が報告された。
- 2) 2021年9月1日（水）現在の査読状況が報告された。
- 3) 2021年7月1日（木）～8月31日（火）までの投稿件数が報告された。
- 4) 2020年度の一般投稿の採択率が報告された。

- 5) 第 25 巻第 1 号特集号の日程が確認された。
- 6) 第 26 巻第 1 号特集号のテーマや日程が報告された。
2. 招待講演者への寄稿依頼について
  - 1) 招待講演者への寄稿依頼の手順が確認された。
3. 研究倫理ワーキンググループについて
  - 1) ワーキンググループのメンバー，検討内容，日程が報告された。
  - 2) 検討内容について，理事から意見があった。

## ○企画委員会

1. 第 3 回社会言語科学会シンポジウム（2021 年度）について
  - 1) シンポジウムの準備状況が報告された。
  - 2) スチューデント・ワークショップの準備状況が報告された。
  - 3) 現時点での参加申込者数，手話通訳や託児補助の申込状況について報告された。
2. 第 4 回社会言語科学会シンポジウム（2022 年度）について
  - 1) 企画案について委員会内での検討が済んだことが報告された。
3. 今後の予定について
  - 1) 今後の予定が示された。
  - 2) 第 5 回社会言語科学会シンポジウム（2023 年度）の開催地域について意見交換がなされた。
  - 3) 第 46 回研究大会での JASS カフェ（3 日目の開催）について，講演者（1 日目に登壇）を囲んだテーブルが設定できるか検討中であることが報告された。

## ○事業委員会

1. 2021 年度第 1 回講習会について
  - 1) 第 1 回講習会の開催案および各講師への依頼状況（快諾済）が示された。

テーマ：研究成果を国際的に発信するための Tips：文法研究・敬語研究・会話分析

講師：コース 1：文法研究 柴崎礼士郎氏（明治大学）

コース 2：敬語研究 武黒麻紀子氏（早稲田大学）

コース 3：会話分析 早野薫氏（日本女子大学）

※各コースとも，実習補助として事業委員 1～2 名を配置

日時：2021 年 2 月末～3 月上旬で調整中

場所：オンライン

スケジュール：午後半日の予定。全体趣旨説明と全体総評以外は各コースに分かれる。

定員：各コース 12 名，計 36 名
  - 2) 参加費については，委員会内で検討することとなった。

## ○広報委員会

1. 学会公式 SNS の実施状況について
  - 1) 活用状況が報告された。
2. 学会誌第 24 巻第 1 号の広告募集について
  - 1) 応募結果が報告された。
3. 第 3 回社会言語科学会シンポジウムおよびスチューデント・ワークショップでの出店について
  - 1) 出店募集の結果および実施方法が報告された。
4. 委員会開催について
  - 1) 通常時の委員間の意見交換状況、および、委員会開催予定が報告された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

1. 今後の検討事項について
  - 1) 今後の検討事項、目標とする今後の日程が報告された。

### 【議案】

#### 1. 名誉会員の選出について

- 1) 現時点で名誉会員が 0 名であり、今後名誉会員の選出を継続して検討・審議することとなった。

#### 2. 第 46 回研究大会について

- 1) 関西学院大学手話言語研究センターから共催の提案（招待講演におけるろう通訳）があったことが報告され、承認された。
- 2) 会員、参加者に対して共催の情報がどのように示されるかについて質問がなされ、適切に広報することが確認された。

#### 3. 投稿・査読システムの変更について

- 1) 現在利用中の投稿・査読システム (Ver.1) のサービス終了に伴い、今後同社の新システムへ移行するかどうか議論された。

#### 4. 会員登録情報の更新について

- 1) 会員本人による登録情報の更新ができていない場合があり、査読者選定の際に問題となっていることが指摘された。
- 2) 会員登録情報更新の徹底について、改善案を検討することとした。

#### 5. 第4回社会言語科学会シンポジウム企画案について

- 1) 第4回社会言語科学会シンポジウム企画として、テーマ、企画責任者、趣旨説明の案が提示され、承認された。

#### 6. 第3回社会言語科学会シンポジウム直後の懇親会について

- 1) 懇親会開催について、以下の点を承認した。
  - ・この懇親会は、企画責任者の発案であること
  - ・学会主催ではなく有志にて実施するため、開催校の負担は増えないこと

#### 7. 審査項目の変更について

- 1) 公平性・客観性をより担保することを目的にした審査項目の変更案が提示され、承認された。

#### 8. その他：総会資料の確認、ならびに、総会の議長選出の手続きについて

- 1) 総会資料が確認された。
- 2) 公平性、客観性の観点から健全な学会運営を維持するために、総会の議長、および、その推薦人の選出については、できる限り役員以外の出席会員が務めることが確認された。

## 社会言語科学会 2021 年度第 4 回（通算第 111 回）理事会議事録

日時：2021 年 12 月 26 日（日）13:30～17:30

開催方法：Zoom

出席者：

理事 片桐恭弘，小西いずみ，井出里咲子，植野貴志子，宇佐美まゆみ，片岡邦好，  
高梨克也，中井陽子，秦 かおり，三宅和子，柳田直美

監事 熊谷智子，多々良直弘

委任状提出者：朝日祥之，岩田一成，金 庚芬，サウクエン・ファン

事務局委員：中西太郎，長谷川明香

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

##### 1. 第 51 回徳川宗賢賞選考委員会について

1)委員会において，徳川宗賢賞の選考対象，選考方法，審査日程の確認を行なったことが報告された。

##### 2. 第 52 回徳川宗賢賞選考委員会および選考結果について

1)委員会内での選考結果（優秀賞 1 編，萌芽賞 2 編）が報告された。今後，授賞理由も添えて理事会にてメール審議されることが確認された。

2)徳川宗賢賞選考規程の改定を委員会内で検討していることが報告された。

#### ○事務局委員会

##### 1. 会勢報告について

1)2021 年 12 月 1 日（水）現在の会勢が報告された。

一般会員：1,122 名	一般 ODA 会員：2 名
学生会員：144 名	学生 ODA 会員：1 名
団体会員：59 団体	名誉会員：0 名

##### 2. 会費納入状況について

1)2021 年 12 月 1 日（水）現在の会費未納件数（2019～2021 年度分）が報告された。

一般会員：215 名	一般 ODA 会員：0 名
学生会員：11 名	学生 ODA 会員：0 名
団体会員：8 団体	

2)2021 年 12 月 1 日（水）現在の会費納入率が，2019 年度分は 96.8%，2020 年度分は 97.5%，2021 年度分は 87.9%であることが報告された。

3. 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) による影響で修学の継続が困難になっている学生会員に対する会費免除について
  - 1) 前回以降 3 名の申請がありすべて承認されたことが報告された。今年度の累計は 5 名申請、すべて承認となった。
4. 人文社会科学系学協会男女共同参画連絡会 (GEAHSS) の活動について
  - 1) 2021 年 9 月 18 日 (土) に実施された「第 4 期第 2 回 (通算 8 回) GEAHSS 運営委員会」についての報告があった。
  - 2) 加盟学協会のジェンダー比率調査について依頼があり回答したことが報告された。
5. 銀行口座の解約・名義変更について
  - 1) 学会がもつ複数の銀行口座・郵便振替口座の解約・名義変更が報告された。

## ○研究大会委員会

1. 第 46 回研究大会について
  - 1) 実施概要, 特別講演の詳細, 招待発表の詳細が報告された。なお, 招待発表は 3 日目午前中の最後の時間帯に実施することが口頭で補足された。

日時: 2021 年 3 月 3 日 (木) ~ 5 日 (土)

会場: zoom (オンライン開催)

共催: 関西学院大学手話言語研究センター

後援: 関西学院大学

実行委員会

実行委員長: 森本郁代氏

実行副委員長: 山本真理氏

実行委員: 尹盛熙氏, 難波彩子氏
  - 2) 応募数および採択数が報告された。
  - 3) プログラム案が報告された。開催校挨拶については未定である。
  - 4) 託児補助, 手話通訳補助を実施予定であることが報告された。
  - 5) 今後の重要日程が示された。
2. 第 47 回以降の研究大会について
  - 1) 第 47 回研究大会について, 打診していた東京国際大学より快諾の返事が届いたことが報告された。期間は 3 月 18 日 (土) を含む 3 日間となる。
  - 2) 第 48 回研究大会については未定であることが報告された。
3. 研究大会参加費領収書発行について
  - 1) 領収書発行手続きについて, 国際文献・研究大会委員会で流れを変更したことが報告された。

## ○学会誌編集委員会

1. 学会誌編集状況について

- 1) 第 24 巻第 2 号 (2022 年 3 月末刊行) の編纂状況が報告された。
- 2) 2021 年 12 月 18 日 (土) 現在の査読状況が報告された。
- 3) 2021 年 9 月 1 日 (水) ~11 月 30 日 (火) までの投稿件数が報告された。
- 4) 第 25 巻第 1 号特集号のテーマや日程が確認された。
- 5) 第 26 巻第 1 号特集号のテーマや日程が確認された。

テーマ「ことばとパワー—コミュニケーションの非対称性を可視化・意識化する—」

エディター：布尾勝一郎 (立命館アジア太平洋大学), 河崎みゆき (國學院大學), 名嶋義直 (琉球大学), 岡本能里子 (東京国際大学) の各氏

## 2. 研究倫理ワーキンググループについて

- 1) ワーキンググループの活動成果と今後の方針が報告された。

## 3. 査読システムの修正・追加について

- 1) 査読システムの添付ファイルについて、いくつかの修正・追加を行なったことが報告された。

## ○企画委員会

### 1. 第 46 回研究大会における JASS カフェについて

- 1) 各テーブルの企画および予定しているメンバーが報告された。

### 2. 第 4 回社会言語科学会シンポジウム (2022 年度) について

- 1) シンポジウム「プロソディを通して見る社会とコミュニケーション」の趣旨および企画責任者・登壇者が報告された。

- 2) 使用予定の教室について報告があった。社会情勢により変更する可能性があることが添えられた。

### 3. 今後の予定について

- 1) 今後の予定が示された。第 46 回研究大会での JASS カフェについては、紙媒体ではなく電子媒体でフライヤーを作成する予定である。

## ○事業委員会

### 1. 2021 年度第 1 回講習会について

- 1) 第 1 回講習会の実施概要が確認され、広報を開始したことが報告された。前回理事会以降新たに決まった点は、参加費および申込方法の詳細である。

参加費： 会員 (一般) : 2,000 円, 会員 (学生) : 1,000 円,  
非会員 (一般) : 3,000 円, 非会員 (学生) : 2,000 円

## ○広報委員会

### 1. 学会公式 SNS の実施状況について

- 1) 活用状況が報告された。

2. 第46回研究大会の出版社対応について
  - 1) 出店形態が報告された。併せて、出版社情報の掲載方法等の確認を関西学院大学と行なう予定であることも報告された。
  - 2) 大会発表論文集に掲載する出版社広告原稿について、国際文献社と調整中であることが報告された。
3. 言語系学会連合のアンケート調査について
  - 1) 言語系学会連合より、広報活動に関するアンケートについて連絡があったことが報告された。
  - 2) 学会として回答すべきことがないか理事会の場で確認がなされ、追加で何かあればメール上で意見交換することとなった。
4. 委員会開催について
  - 1) 委員会メーリングリスト上での活動が報告された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

1. 研究大会発表賞の選考スケジュールについて
  - 1) 暫定的な日程が示された。

## 【議案】

1. 徳川宗賢賞萌芽賞の副賞について
  - 1) 徳川宗賢賞基金の財政状況、ならびに、萌芽賞を複数論文に対し授与する可能性に鑑みて、萌芽賞の副賞賞金を10万円から5万円にする案が提示され、以下の通りに決定した。
    - ・ 萌芽賞の副賞は、1件あたり5万円とする
    - ・ 次回（2022年度（第22回））から適用する
2. 理事・監事候補者推薦手続きのウェブへの移行について
  - 1) 理事・監事候補者推薦の方法をこれまでの郵送ではなくウェブ主体に移行することが提案され、議論の結果「郵送対応なしのウェブ全面移行すること」に決定した。
3. 名誉会員の推薦について
  - 1) 引き続き検討していくことが確認された。
4. 第46回研究大会における理事会・委員会開催について
  - 1) 第45回研究大会同様、第46回研究大会においても理事会・委員会（オンライン開催）は、

研究大会委員会・開催校ではなく各会で手配することが確認された。

## 5. 徳川宗賢賞・研究大会発表賞受賞者について

- 1) 授賞式および懇親会における手話通訳手配・費用負担について、第46回研究大会時（徳川宗賢賞第21回、研究大会発表賞第21回）には不要であることが、理事会の場で確認された。
- 2) 研究大会委員長より、受賞者は懇親会招待ではあるが URL 等の参加情報送付のために参加登録が必要であることが連絡された。

## 6. 投稿規定類の改訂案について

- 1) 研究倫理ワーキンググループおよび学会誌編集委員会で作成した投稿規定類の改訂案が提出された。改訂案は確定後、2022年1月～3月に学会ウェブサイト、大会発表論文集、学会誌に掲載する予定である。

## 7. 第4回社会言語科学会シンポジウムについて

- 1) 日程を2022年9月3日（土）とすることが提案され、承認された。
- 2) 午後のシンポジウム企画について、国語研究所共同研究プロジェクト2件との共催にする案が提示され、承認された。

## 8. 2022年度言語系学会連合「共催制度」の申込について

- 1) 言語系学会連合の共催制度について連絡があり、「第4回社会言語科学会シンポジウム」を応募する方向で調整することが決定した。応募前に、共催企画でもよいかを広報委員会から言語系学会連合に問い合わせることとなった。

## 9. 言語系学会連合意見交換会の参加について

- 1) 言語系学会連合意見交換会（2022年1月23日（日）午前10:00～12:00）に、現時点では広報委員長と広報委員1名が参加予定であることが報告された。
- 2) 会長より意見交換会に出られるとの話があった。人数制限があるかどうかを広報委員会から言語系学会連合に確認の上、会長に連絡することとなった。

## 社会言語科学会 2021 年度第 5 回（通算第 112 回）理事会議事録

日時：2022 年 3 月 3 日（木）10:00～11:30

審議方法：Zoom

出席者：

理事 片桐恭弘、小西いずみ、朝日祥之、井出里咲子、岩田一成、植野貴志子、  
宇佐美まゆみ、片岡邦好、金 庚芬、高梨克也、中井陽子、秦かおり、  
サウクエン・ファン、三宅和子、柳田直美

監事 多々良直弘

事務局委員：中西太郎

### 【報告】

各委員会からの報告

#### ○徳川宗賢賞選考委員会

1. 2021 年度（第 21 回）徳川宗賢賞について

1) 第 52 回徳川宗賢賞選考委員会（2021 年 12 月 19 日（日））にて決定された受賞論文の候補と授賞理由の文面が、理事会にてメール審議・承認されたことが報告された。

##### ○優秀賞

大江元貴氏（金沢大学），居關友里子氏（国立国語研究所），鈴木彩香氏（国立国語研究所）

「日本語の左方転位構文はいつ、どのように使われるか？」第 23 巻第 1 号，  
pp. 226-241.

##### ○萌芽賞

森玲奈氏（帝京大学）

「高齢者のノンフォーマル学習環境デザインに向けたアクションリサーチ —地域と大学との連携に着眼して—」第 23 巻第 1 号，pp. 53-68.

木本幸憲氏（兵庫県立大学）

「変化する社会への適応方法としての「危機」言語 フィリピンのアルタ語の活性度と消滅プロセスから」第 23 巻第 2 号，pp. 35-50.

2) 受賞決定を受け、受賞者への通知や会員メーリングリストや学会ウェブサイトを通じて周知したことが報告された。

3) 第 46 回研究大会で実施される授賞式がオンラインのため、賞状を事前に受賞者に送付したことが報告された。

## ○事務局委員会

1. 会勢報告について
  - 1) 2022年2月21日(月) 現在の会勢が報告された。

一般会員：1,120名	一般 ODA 会員：3名
学生会員：148名	学生 ODA 会員：1名
団体会員：59団体	名 誉 会 員：0名
2. 会費納入状況について
  - 1) 2022年2月21日(月) 現在の会費未納件数(2019～2021年度分)が報告された。

一般会員：145名	一般 ODA 会員：1名
学生会員：8名	学生 ODA 会員：0名
団体会員：8団体	
  - 2) 2022年2月21日(月) 現在の会費納入率が、2019年度分は97.0%、2020年度分は97.9%、2021年度分は92.7%であることが報告された。
3. 会員メーリングリスト配信内容に対する意見とそれへの対応について
  - 1) 会員からの意見をふまえ、今後「会員への利益やより広い意味での公共性、情報の学術性」という原則に従ってその都度判断する対応を行なっていくことが報告された。
4. 国立国会図書館インターネット資料収集保存事業への協力について
  - 1) 国立国会図書館よりこの事業の対象として学会ウェブサイト内の情報の収集・保存・提供について許諾が求められたこと、理事会でのメール審議を通じて許諾することに決定したことが報告された。
5. 理事・監事候補者推薦のウェブシステムへの移行について
  - 1) 理事・監事候補者推薦のウェブシステムへの移行の検討が進み、デモンストレーション版が間もなくできることが報告された。
6. 学会ウェブサイト内の句読点の不統一等について
  - 1) 学会ウェブサイトの句読点不統一等の問題について、修正の対応内容と、今後全ページの句読点の修正、統一をしていくことが報告された。

## ○研究大会委員会

1. 第46回研究大会について
  - 1) 第46回研究大会の発表数が報告された。
  - 2) 第46回研究大会の参加申込者数と参加費納入状況が報告された。
  - 3) 第46回研究大会の手話通訳利用補助金申請状況、託児補助利用申請状況、準備状況の報告があった。
  - 4) 非会員学生の参加費徴収ミスにかかわる対応状況が報告された。
  - 5) 国際文献委託費用の追加が報告された。
  - 6) ろう通訳関係者の特別講演への参加が報告された。
2. 第47回研究大会開催に向けた準備について

- 1) 第 47 回研究大会についての報告があった。会場は東京国際大学第 2 キャンパス、日程は 2023 年 3 月 16 (木), 17 (金), 18 日 (土) に決定した。
- 2) 第 48 回研究大会については詳細未定との報告があった。
3. 2021 年度中の業務改善結果について
  - 1) 2021 年度中の業務改善状況が報告された。

## ○学会誌編集委員会

1. 学会誌編集状況について
  - 1) 第 24 巻第 2 号 (2022 年 3 月末刊行) の編纂状況が報告された。改訂された投稿規定等も掲載される。
  - 2) 2022 年 2 月 20 日 (日) 現在の査読状況が報告された。
  - 3) 2021 年 12 月 1 日 (水) ~2022 年 1 月 31 日 (月) までの投稿件数が報告された。
  - 4) 2021 年 4 月 1 日 (木) ~12 月 31 日 (金) までの投稿件数が報告された。
  - 5) 第 25 巻第 1 号特集号のテーマと日程が確認された。
  - 6) 第 26 巻第 1 号特集号のテーマと日程が確認され、すでに投稿があったことが報告された。
2. 投稿規定類の改訂について
  - 1) 投稿手続きの変更に伴う改訂投稿規定等の周知方針 (周知する媒体, 時期) が報告された。
3. 査読システムの変更について
  - 1) 査読システムの変更状況が報告された。新システムは 4 月 1 日以降運用予定で、投稿先 URL も変更となる予定である。
4. その他について
  - 1) 他委員会との連携案の検討状況についての報告があった。
  - 2) 学会誌転載予定の学会ウェブサイト上の記事に誤植があったこと、誤植の修正を終えたことが報告された。
  - 3) 今後の委員会開催予定について報告があった。

## ○企画委員会

1. 第 4 回社会言語科学学会シンポジウムについて
  - 1) 第 4 回社会言語科学学会シンポジウム (2022 年 9 月 3 日 (土) 龍谷大学) の共催プロジェクトタイトルの一部変更が報告された。
  - 2) 言語学系学会連合の共催制度に申し込んだことが報告された。
2. 第 46 回研究大会における JASS カフェについて
  - 1) 大会発表論文集に掲載する原稿の作成・提出が報告された。
  - 2) 学会ウェブサイトの研究大会プログラム内にフライヤーへのリンクを貼ったことが報告された。
  - 3) 当日マニュアルを作成し、関係者に配布したことが報告された。

- 4) Zoom でのリハーサルを実施したことが報告された。
3. 今後の活動について
  - 1) 今後の活動計画（第 4 回社会言語科学会シンポジウムの準備及びスチューデント・ワークショップ募集）について報告があった。

## ○事業委員会

1. 2021 年度第 1 回講習会の準備状況について
  - 1) 2021 年度第 1 回講習会を予定通り実施することが報告された。
2. 2022 年度活動計画について
  - 1) 今後の講習会開催に関する検討状況が示された。

## ○広報委員会

1. 学会公式 SNS の実施状況について
  - 1) 活用状況が報告された。さらなる活性化の必要があるとことが添えられた。
2. 言語系学会連合意見交換会の参加について
  - 1) 言語系学会連合意見交換会（2022 年 1 月 23 日（日））への参加が報告された。社会言語科学会から提示した「研究倫理ガイドラインについて」への意見交換など、参加を通して、類する課題を有する諸学会との情報共有が有益であることが添えられた。
3. 2022 年度言語系学会連合「共催制度」の申込資格の問い合わせ結果について
  - 1) 第 4 回社会言語科学会シンポジウムにおいて言語系学会連合共催制度の申込に問題がないと確認が取れた旨、報告があった。
4. 第 46 回研究大会への企業出店募集について
  - 1) 企業出店の申し込み状況が報告された。
5. 第 46 回研究大会の大会発表論文集、および、学会誌第 24 巻第 2 号への広告募集について
  - 1) 広告掲載申し込み状況が報告された。
6. 検討事項について
  - 1) 広告募集時のウェブフォーム導入の検討が報告された。検討にあたって、他委員会と活用ノウハウを共有したいとの連絡があった。
  - 2) 学会公式 SNS アクセス数を増やす方法の検討状況が報告された。
7. 委員会開催について
  - 1) 今後の委員会開催予定が示された。

## ○研究大会発表賞選考委員会

1. 第 46 回研究大会での発表を選考対象とする第 22 回研究大会発表賞の審査進行状況について

- 1) 審査の実施過程と実施状況が報告された。
2. 第 45 回研究大会での発表を選考対象とする第 21 回研究大会発表賞について
  - 1) 受賞者 3 名に賞状を送付したことが報告された。

## 【議案】

### 1. 理事および監事候補者推薦管理委員会の設置について

- 1) 理事・監事候補者推薦管理委員会を「会員による理事および監事候補者推薦の手続きに関する細則 第 2 項」の通り進めることが提案，決定された。
- 2) 進行スケジュールを確認し，第 46 回研究大会終了後，迅速に管理委員会を構成する理事間で議長を互選し，理事会に報告することになった。